

教育シンポジウム

「日本で一番子どもを応援するマチ ナゴヤ」の実現のために

教育委員会の主な施策紹介



名古屋市教育振興基本計画

計画期間
平成27年度～
平成30年度

●教育振興基本計画とは？

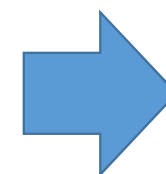
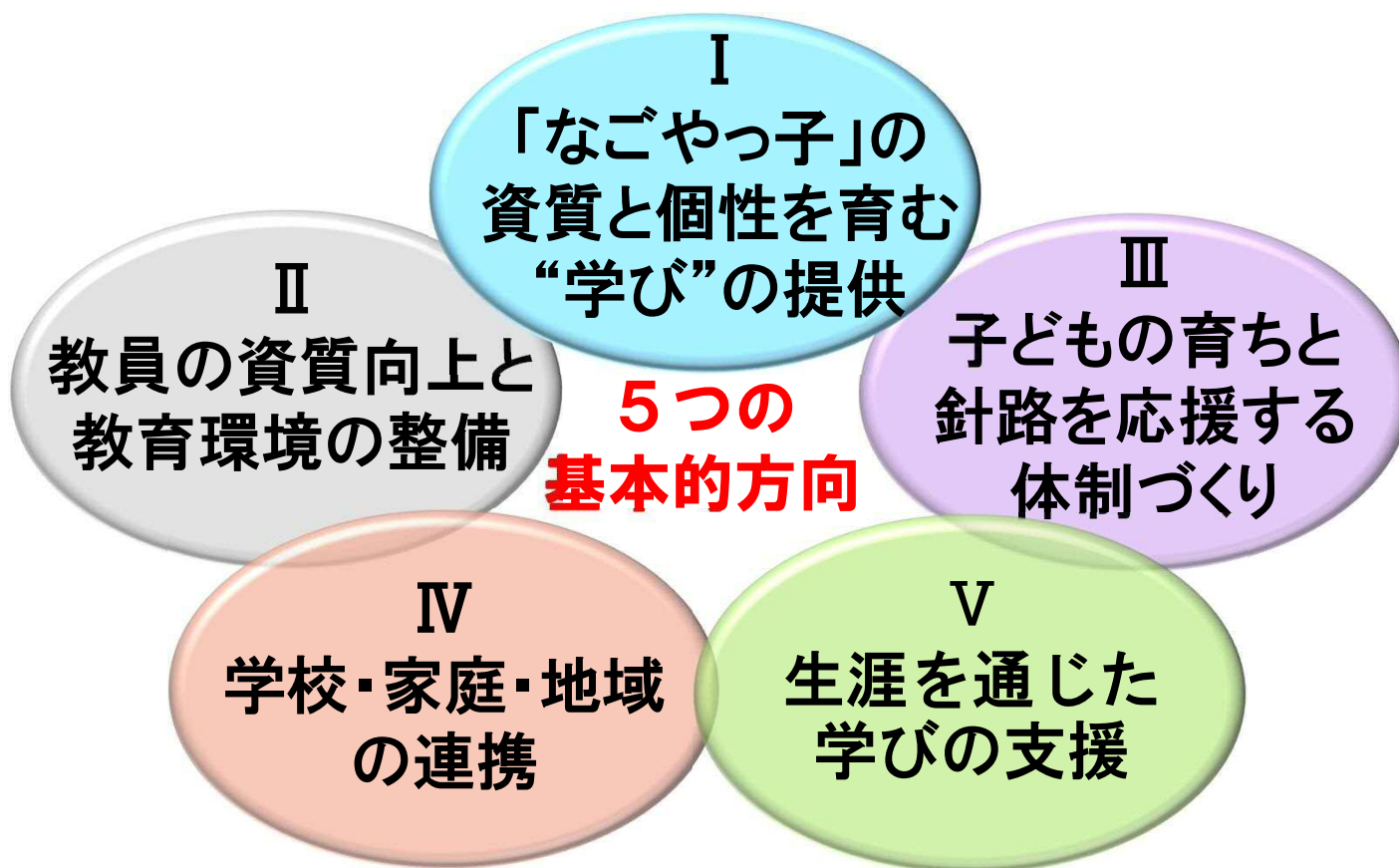
- ・「教育基本法」により地方公共団体に策定の努力義務
- ・教育の振興のための施策に関する基本的な計画
- ・平成19、23、27年度の3回策定

●教育振興基本計画の基本理念

- ・夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成

名古屋市教育振興基本計画

計画期間
平成27年度～
平成30年度



19施策
約150事業

①教育振興基本計画 基本的方向1

「なごやっ子」の資質と個性を育む“学び”の提供

●学習指導要領の改訂のスケジュール

小学校 ⇒ 平成32年度全面实施

中学校 ⇒ 平成33年度全面实施

●学習指導要領の改訂のポイント

知識の理解の質を高め資質・能力を育む
「主体的・対話的で深い学び」

なかまと学びを深める授業づくり

なかまなビジョン

(H29. 2策定)

なかま との対話

主体的な 学び

授業に対する ビジョン

なかま

【対話的な学び】

対話の中でも、特になかまとの対話を大切にします。

学び

【主体的な学び】

めあてと振り返りを大切にした主体的な学びを目指します。

ビジョンを

もった授業を通して

【深い学び】

課題解決的な学習を通して、どのような力を付けるのかという授業に対するビジョンをもち、深い学びを目指します。

②教育振興基本計画 基本的方向1

「なごやっ子」の資質と個性を育む“学び”の提供

●道徳の教科化

小学校 平成30年4月から

中学校 平成31年4月から

●小学校英語の教科化

平成32年4月から

●小学校段階における

プログラミング教育の実施

平成32年4月から



個に応じたきめ細かな指導により、基礎基本を着実に身につけさせるとともに、幅広い学力を伸ばします。

③教育振興基本計画 基本的方向2 教員の資質向上と、教育環境の整備

学校施設リフレッシュプラン（平成29年7月策定）

●策定の趣旨

老朽化の進展に伴い更新需要の高まる学校施設について、限られた予算で安心・安全・快適な教育環境を確保していくため、今後の維持管理・更新について基本的な考え方を取りまとめるもの。

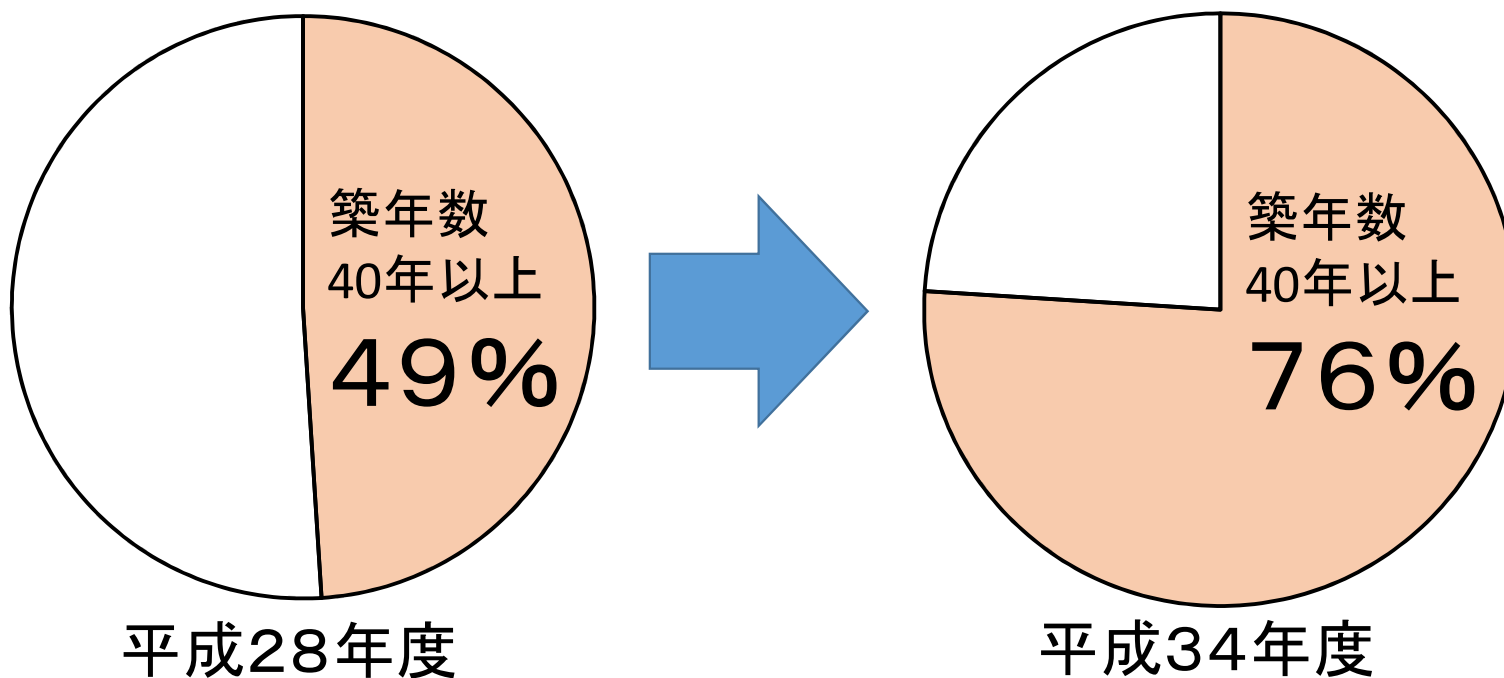
●計画期間

平成29年度～平成62年度（34年間）

学校施設リフレッシュプラン（平成29年7月策定）

○現状と課題

1 施設(校舎) ※延床面積



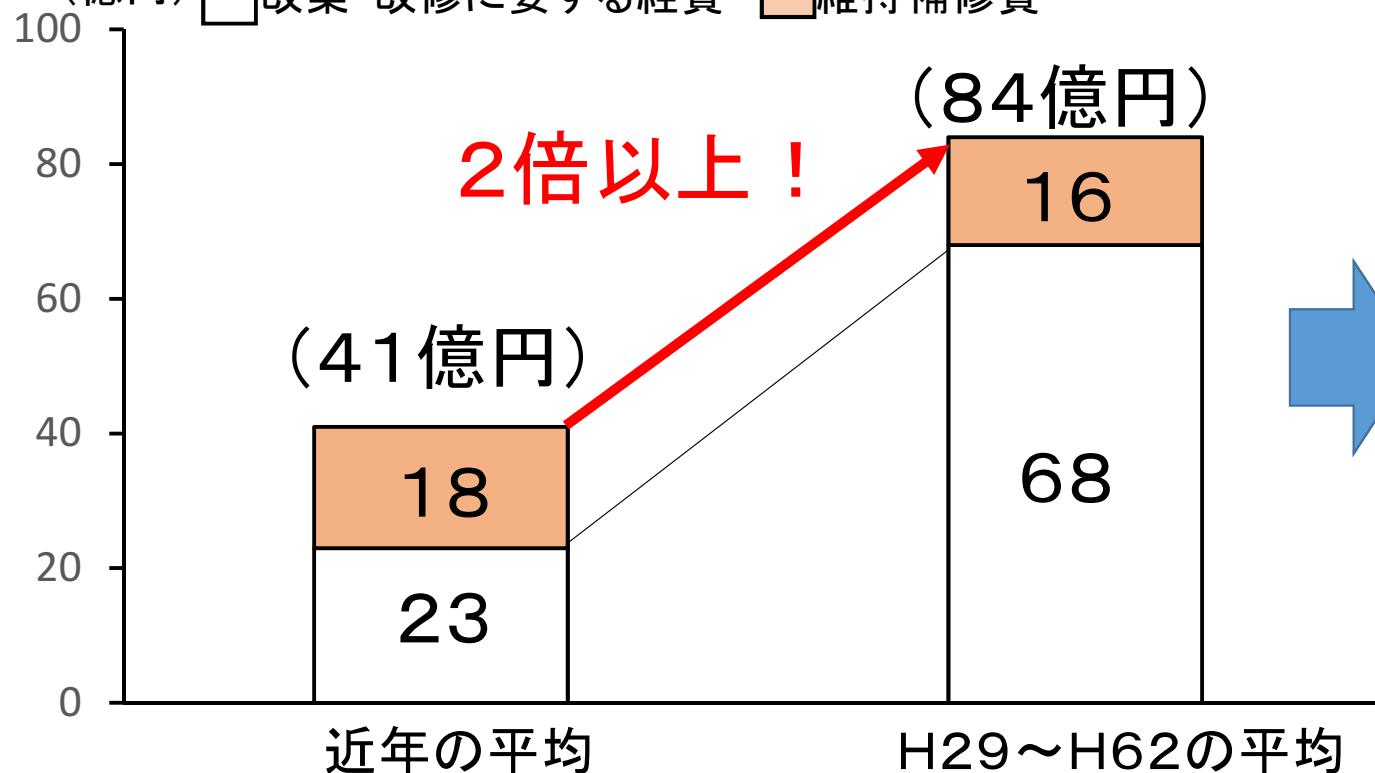
⇒学校施設は老朽化が進行しています。

学校施設リフレッシュプラン（平成29年7月策定）

○現状と課題

2 財 政（学校の整備費） ※一般財源

（億円） □改築・改修に要する経費 ■維持補修費

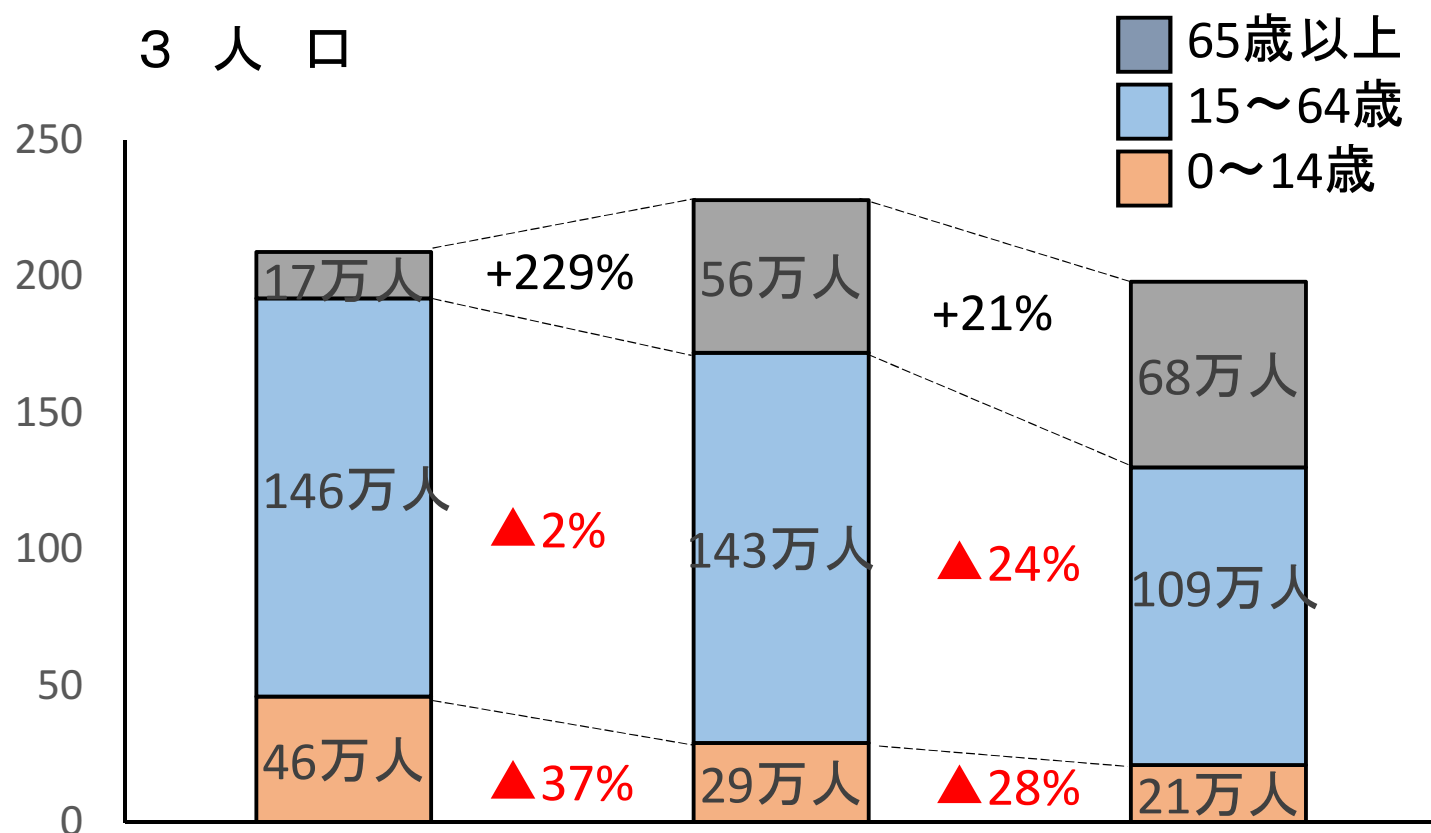


従来手法で
整備すると、
今後経費が
多大になります。

学校施設リフレッシュプラン（平成29年7月策定）

○現状と課題

3人口



⇒少子高齢化がますます進むことが見込まれます。

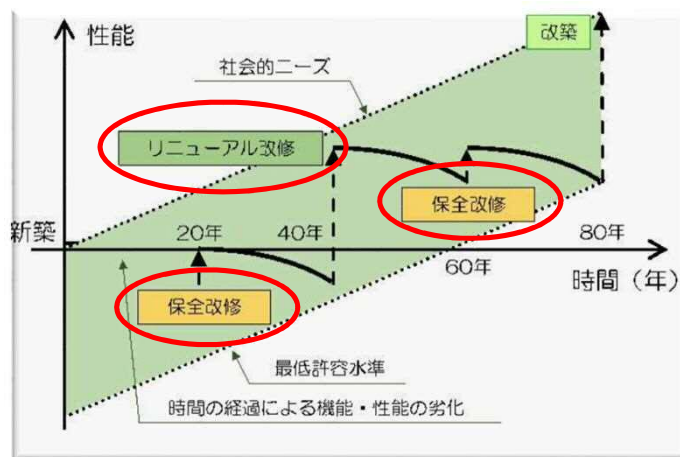
⇒整備手法などを見直さなければ、安心・安全・快適な環境が確保できなくなります。

学校施設リフレッシュプラン（平成29年7月策定）

①学校施設の目指すべき姿

財政的に持続可能な範囲で、
安心・安全・快適な環境が確保された学校施設

②基本的な整備サイクル



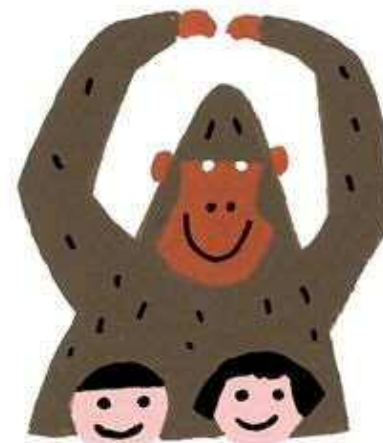
③長寿命化によりできること

- ① 教育環境の早期改善
- ② 「事後保全」から「予防保全」への転換
- ③ 社会的ニーズの変化への対応

④教育振興基本計画 基本的方向3 子どもの育ちと針路を応援する体制作り

●なごや子ども応援委員会とは？

- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、
スクールアドバイザー、スクールポリスの4職種の職員
- ・日本初の常勤の専門家チーム



なごや子ども応援委員会

なごや子ども応援委員会の4職種



スクール カウンセラー（常勤）

- 心理の専門的知識・経験を活かし、学校生活全般への援助
- 児童生徒、**保護者**、教職員への相談対応
- 必要に応じて**医療機関**に



スクール アドバイザー（常勤）

- 学校に対する**外部からの**意見や要望への対応
- **地域や家庭**との連絡調整



学校現場を支援

スクール ソーシャルワーカー（常勤）

- 福祉の専門的知識・経験を活かし、児童生徒が置かれた環境への働きかけ
- **関係機関（区役所・児相・地域役員等）**との連携、調整



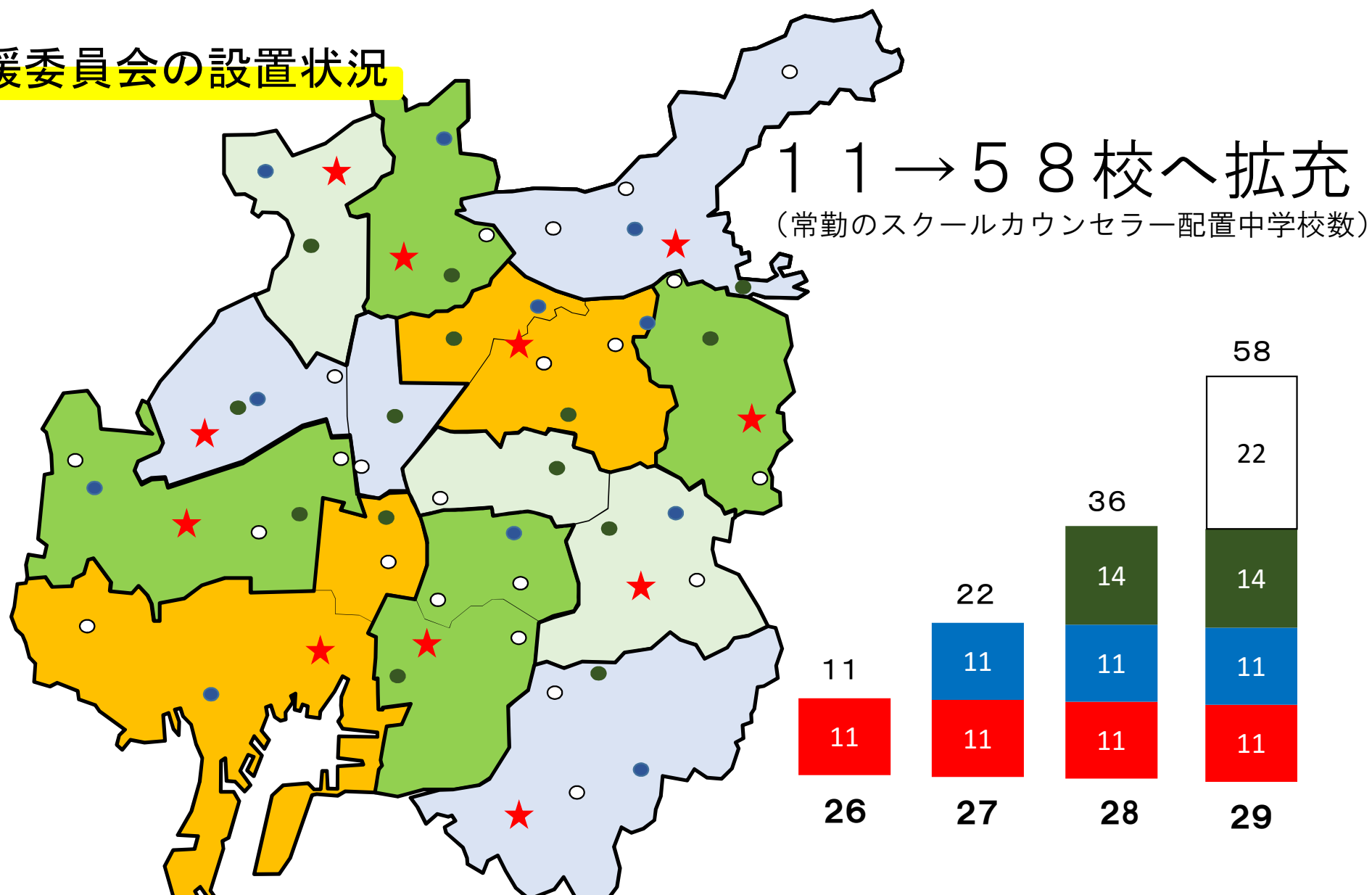
スクールポリス（非常勤）

- 学校内外における見守り活動
- 必要に応じた**警察**との連携

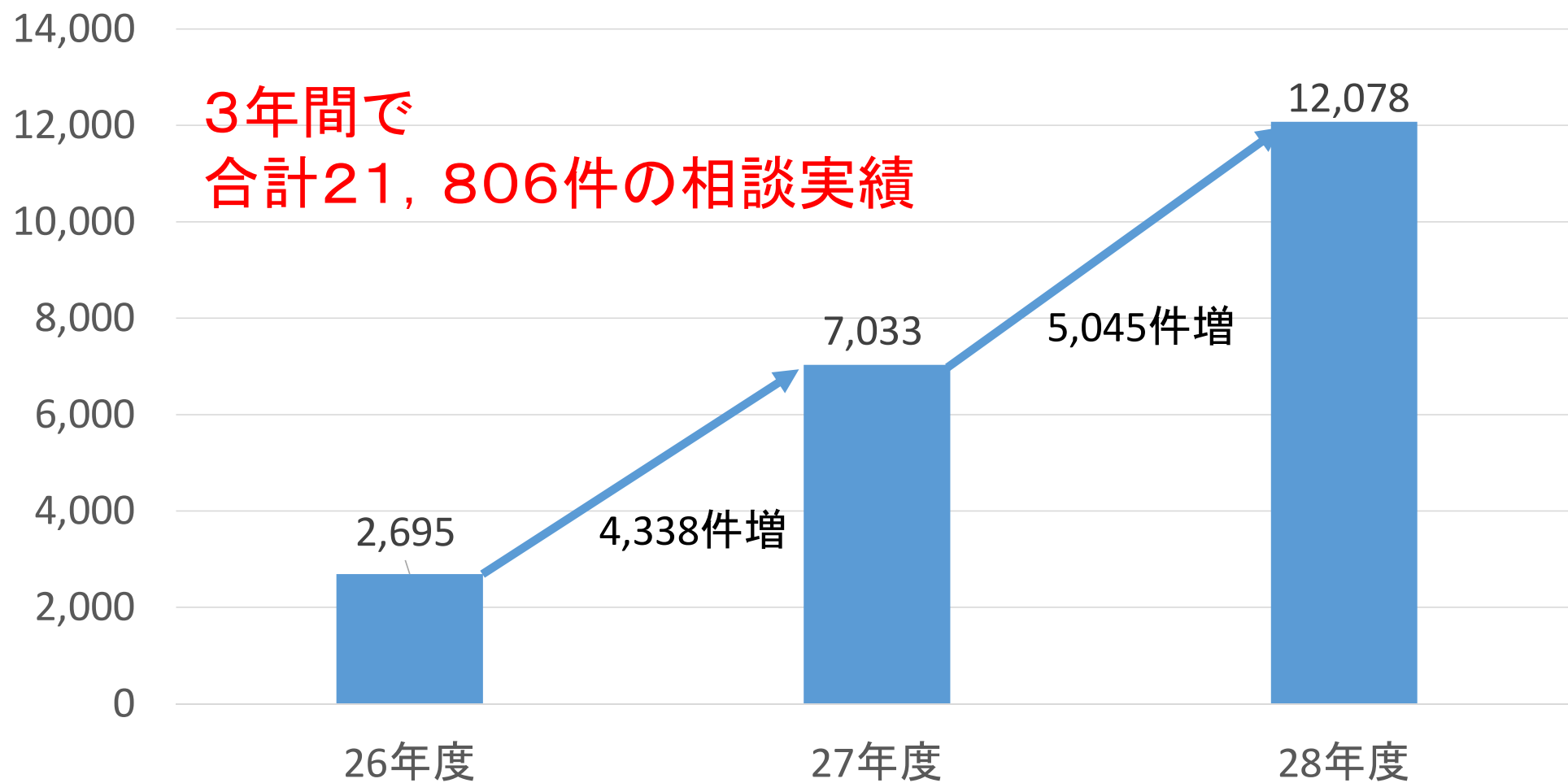


子どもたちの人生を丸ごと応援

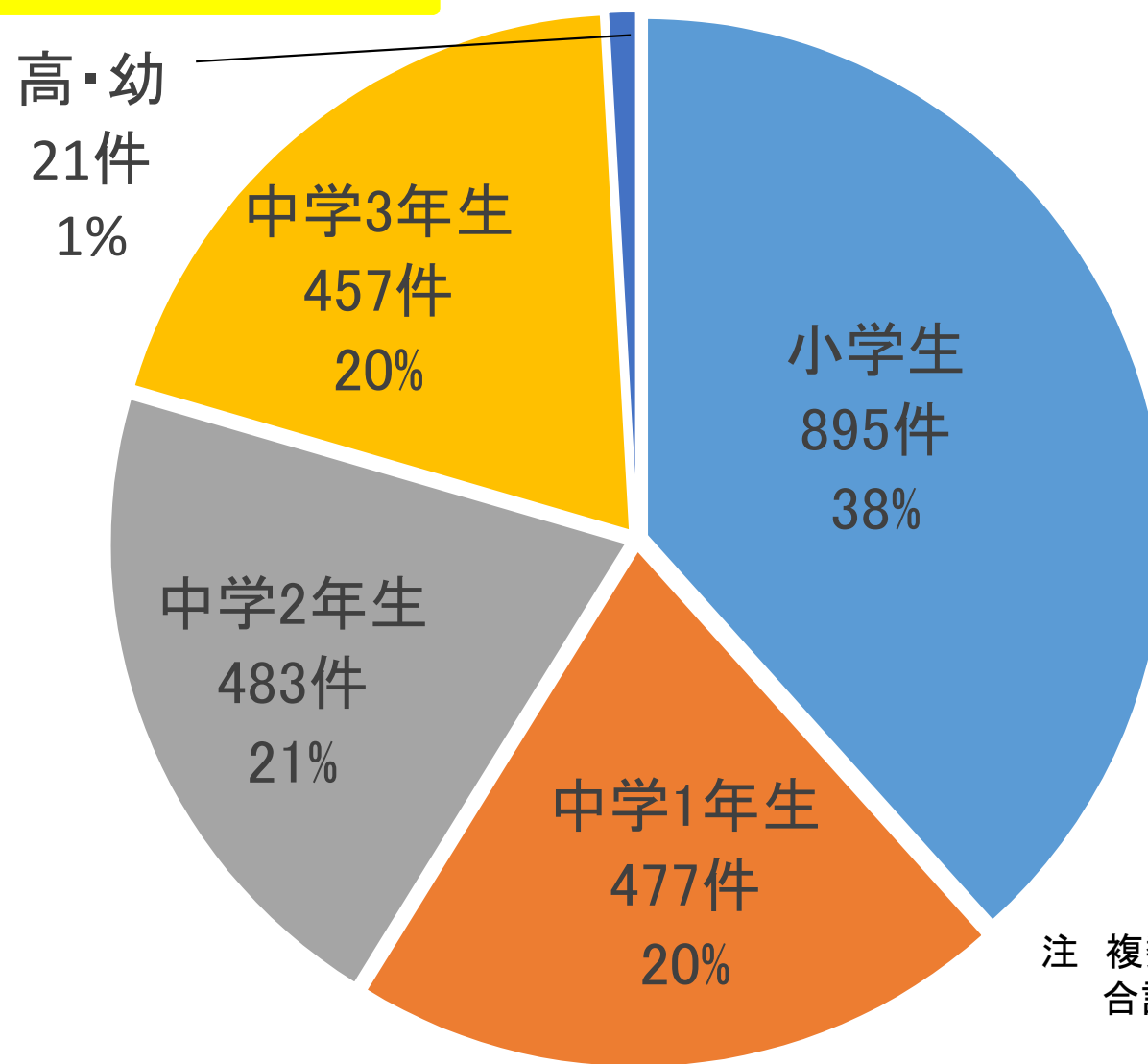
子ども応援委員会の設置状況



子ども応援委員会の相談実績



平成28年度の相談実績の内訳



注 複数職員で対応する場合があります、
合計は相談実績合計と異なる

平成28年度の相談実績の内訳

内容	不登校	精神的不安	家庭の問題	学校不適応	発達障害	友人関係	虐待
件数 (件)	4,661	1,675	1,521	1,071	834	645	223
割合 (%)	38.6	13.9	12.6	8.9	6.9	5.3	1.8

内容	教職員への支援	いじめ	非行	病気が	進路関係	教職員の指導	その他
件数 (件)	206	200	153	82	75	63	669
割合 (%)	1.7	1.7	1.3	0.7	0.6	0.5	5.5

子ども応援委員会から広がる子どもたちの応援の輪



幅広い相談対応・いじめの未然防止に
つながる取り組みの支援

教育委員会の主な施策紹介

